

地域密着サービス運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム稗原

日 時：令和7年4月17日(木)

14:00～15:00

場 所：グループホーム稗原 きんもくせいユニットホール

参加者：稗原コミュニティーセンター長

市森自治協会副会長

稗原地区自治協会会長

喜楽会会長

出雲市高齢者福祉課課長補佐

グループホーム稗原(管理者)

グループホーム稗原(介護支援専門員)

<議題>

- 1.ご利用者状況
- 2.近況報告
- 3.行事報告
- 4.事故・ヒヤリハット事例報告
- 5.研修・委員会・訓練等
- 6.今後の行事・研修等予定
- 7.その他
- 8.意見交換

<議題>

1.ご利用者状況(令和7年4月15日時点)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	1名	4名	2名	1名	1名	9名
女性	4名	0名	2名	1名	0名	7名
計	5名	4名	4名	2名	1名	16名

平均介護度…2.37

平均年齢 …85.3歳(77～93歳)

- ・2/11 女性の方(要介護5)がご逝去されました。
- ・2/19 下痢症状が続きご家族の希望にて入院され、その後3/19付で退所されました。
- ・3/10 男性の方(要介護3)がご入居されましたが、3/18 右股関節の腫れや痛みがあり主治医の指示にて受診後入院されました。
- ・4/1 女性の方(要介護1)がご入居されました。

- ・ 4/2 女性の方(要介護 1)の方が主治医の指示にて救急搬送後、右大腿骨頸部骨折の診断にて入院されました(*事故報告事例③にて記載)。
- ・ 4/2 男性の方(要介護 3)が主治医の指示にて救急搬送後、誤嚥性肺炎の診断にて入院されました。
- ・ 4/7 男性の方(要介護 4)がご入居されました。
- ・ 4/10 男性の方(要介護 2)がご入居されました。

2.近況報告

現在、2 ユニットで 16 名の方がご入居中です。うち、3 名の方が入院中でいらっしゃいます。日中は 1 ユニット内にて、一緒に体操やレクリエーションを行いながらお過ごしいただいています。

2 月中は積雪も多く寒い日が続きましたが、雪景色を楽しまれたり室内でレクリエーションや体操を行ったりとゆったりとした日々をお過ごしでした。

3 月末には急性胃腸炎が施設内で拡がり、嘔吐、発熱の症状が見られるご利用者様が複数出ました。概ね数日の静養期間にて食欲も回復されました。

4 月に入り暖かい日も多くなりましたが引き続き室温、衣類等の調整を行い、感染症対策もより強化し継続しながら皆様の体調管理に努めてまいります。

3.行事報告

<2 月 節分・誕生会>

2 月は節分の豆まき、2 月生まれの方の誕生会を行いました。豆まきの際には、本格的な鬼が登場し、一瞬怖がられたご利用者様もいらっしゃいましたが、新聞を丸めて作った豆を投げ、鬼退治をされました。普段あまり大きな声を出されない方も、はっきりと聴こえる声で「鬼は外！」と仰っていました。お茶の時間には、ご利用者様ご自身で顔を描き、鬼の形にしたお菓子を召し上がられました。

2 月生まれの方の誕生会は、ケーキやプレゼント、歌などでお祝いをしました。皆様からお祝いの言葉が出ると、とても嬉しそうにされていました。カラオケを行うと、自らマイクを持ち歌われる方、遠慮しながらも楽しめる方、手拍子などをしながら一緒に歌い楽しめる方など、お一人おひとりがご自分のペースで楽しまれていました。



<3月 桃の節句・誕生会>

3月は、誕生会と桃の節句であるひな祭りのお祝いを行いました。

ひな祭り会では、男性の方にはお内裏様、女性の方にはお雛様に扮した衣装を着ていただきました。特に女性の方は、普段見慣れない衣装に目を輝かせていらっしゃいました。写真撮影の際に嬉しそうにされていた姿が印象的でした。

4.事故・ヒヤリハット事例報告

○事故報告

・事例①86歳 男性 要介護5

(内容)

朝食後のパット交換のため訪室すると、左親指付け根の水かき部分に3cm程度の裂傷があるのを発見する。

(対処)

患部の確認。傷口を洗浄しガーゼ保護を行う。

主治医へ報告し対応の指示を仰ぐ。

(原因)

朝食介助時に患部に内出血ができていたのを発見していたが、裂傷はできていなかった。内出血の原因は、元々皮膚が弱い方であるが、パット交換時に強く抵抗されることも多く、夜間の介助時手を抑えさせていただいた際にできてしまった可能性あり。体をご自分で動かすことはできないが、手はご自分で動かされ、時々ご自分の手を強く掴まれるご様子等も見られていたため、内出血ができた力所に更に外的な刺激が加わって裂傷に繋がってしまったものと思われる。

(ご利用者様の状況)

常時ベッド上での介助をさせていただいている方だった。患部の痛みの訴えはなく、保護をしているガーゼを外されたり裂傷がある親指を動かされるご様子が見られたため、傷口が塞がるまでの間親指と人差し指を固定させていただく。

(再発防止に向けて)

- ・特に夜間中の介助は一人での対応になり、抵抗されると介助を行うことが困難になる場合がある。皮膚が弱い方も多いため、時間帯をずらしてもよい介助は、早番が出勤してからなど複数で対応できる時間帯に行うようにする。
- ・手を動かされベッド柵に当たる可能性もあったため、頭部側のベッド柵を保護する。

(ご家族様の反応)

キーパーソンである長男様にご状態と主治医からの指示、今後の対策を報告しお詫びする。その後、長男様の奥様から複数回当施設へ連絡あり。裂傷の原因に納得されていないご様子が見られた。また、連絡をされる奥様ではなく、別のご家族様が当施設への対応に不満、不信感を持っているという話をされ、同様の内容を市役所へも報告される。

以前より不定期にご長男の奥様より当施設へ同様の連絡があり、場合によっては市への連絡もされていた。

ご本人様が要介護5のご状態であり、身体的な機能低下が見られていたが、その点についても当施設の対応不足等を訴えておられ、頻回な連絡が続くこともあった。

→当施設としては、可能な限りご家族様のご要望にお応えし、できる対応を行っていた。ご状態の変化等あれば速やかに詳細な報告や情報提供を行うことも心がけ対応していた。

今後、施設でのケアの見直しや介護力の向上を目指しつつ、当施設としてハラスメント事案と判断した場合にはその対応も行えるようにマニュアルの整備を行っていく。

・事例②90歳 男性 要介護2

(内容)

体調を崩されベッド上での朝食介助後、服薬介助を行った際、錠剤が1錠ベッド上に落下し搜索したが発見することができず。

(対処)

主治医に報告。そのまま様子観察の指示あり。

午後になり落下していた錠剤を発見する。そのまま破棄となる。

(原因)

体調を崩されていたが、普段と変わらない対応にて口腔内まで錠剤の服薬介助を行おうとしたため。

(ご利用者様の状況)

特変なくお過ごしになる。

(再発防止に向けて)

- ・普段は錠剤の介助でもご状態に合わせて粉碎し介助を行うなど臨機応変に対応する。
- ・錠剤の介助を行う際も、確実に服薬いただけるよう1錠ずつ介助する、転がらないよう他のものと一緒に介助を行うなどの工夫をする。

・事例③93歳 女性 要介護1

(内容)

夕食後、普段何も掴まらずに歩行されている方が手すりを使い歩きにくそうにされていたため声をかけると、居室内で足がもつれ転んだと話される。

(対処・ご利用者様の状況)

右太ももの内側が痛いご様子で歩きにくそうにされていたため帰室していただき、バイタル(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)測定を行うが異常なし。

右足も痛みの訴えがある部分を中心に、全体の確認を行うも外傷等見られず。

夜間、右足の痛みが強くなればトイレに行くことができず、全介助にてポータブルトイレを使用する。

朝食の声かけにも「欲しくない」と仰られ起き上がれず。バイタル測定を行うと、酸素飽和濃度の低下が見られた。

主治医へ前日転倒の申告があったこと、夜間～朝にかけてのご様子、朝のバイタル等を報告。骨折されている可能性があるため、救急搬送の指示が出る。

救急搬送後、右大腿骨頸部骨折の診断にて入院される。

(原因)

居室内で転倒されたため。普段歩行状態に問題はなく、居室内ではご自由に動いていらっしゃったため転倒時の様子がはっきりとわからなかった。

(再発防止に向けて)

- ・歩行状態に問題がない方でもご高齢でいらっしゃることを考慮し、見守りを強化していく。
- ・普段と異なる様子が見られた際には、平時以上にこまめな観察を行い、異常の発見が早期にできるように心がける。

○ヒヤリハット

- ・事例①85歳 女性 要介護3

(内容)

ソファから立ち上がり、ソファの方へ向き直られ膝かけを持とうとされた際にふらつかれたため、近くにいた職員が2名駆け寄り支える。

(対策)

元々ふらつきがあり、歩行時の見守りを行っている。直近で内服の変更があり、歩行状態にも影響が出る可能性もあるため、引き続き見守りや付き添い歩行を行っていく。

- ・事例②85歳 男性 要介護3

(内容)

歩行器を使用し見守り歩行をされている方。昼食後、居室で休んでいらっしゃる間センサーが鳴動せず、ご本人様が歩行器を使用しトイレから戻られた際に鳴動し職員が訪室する。

(対策)

センサーマットの位置がずれており、起きられた際に鳴動しない位置にあった。帰室介助を行った際には、必ずセンサーマットの位置と鳴動の確認を行う。

5. 研修・委員会・訓練等

○研修

- ・2月に身体拘束排除に関する研修、認知症及び認知症ケアに関する研修を行いました。
- ・3月に高齢者虐待防止に関する研修を行いました。

6. 今後の行事・研修等予定

○行事予定

- 4月：誕生会
- 5月：端午の節句、誕生会

○研修・訓練等予定

- 4 月：BCP(自然災害)内容の周知・研修
消防避難訓練
- 5 月：緊急時の対応に関する研修
BCP(感染症)内容の周知・研修

7.その他

令和 7 年 4 月より管理者が変更となりました。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

8.意見交換

○事故報告事例③の方は骨粗鬆症がおありですか。

→はい、骨粗鬆症でいらっしゃいます。

・これまで事故によって亡くなられた方はいらっしゃいますか。

→現時点ではいらっしゃいません。

・事故により亡くなられた方がいらっしゃると大変かと思うので、それは良かったですね。

→今後も事故防止に向けて努めていきます。

・入院されている時のグループホームの費用はどうなりますか。

→在籍中は家賃 100%、管理費(光熱費等)40%が発生します。

○現在ご入居中の方は、動かれる方が多いですか。

→はい、多いです。

・要介護 2 以下などの軽度の方が良く動かれますか。

→要介護に関わらず動かれます。認知症の症状が重度のために、要介護度が高い方もいらっしゃいます。そのような方は、身体機能の低下があまり見られていない方もいらっしゃいますので、その分よく動かれます。

○経験から歩行時の歩幅が狭くなると転倒したり、誤嚥性肺炎になりやすくなると感じています。また、外部との交流がないと忘れっぽくなったり、それまでゆっくり食事を摂っていたのが早食いになったりすると誤嚥しやすくなると思います。そのような方々を看るのはとても大変だと思います。

→皆様高齢でいらっしゃるため、転倒や誤嚥のリスクが高い方が多いです。また、仰られる通り社会参加や外部からの刺激が少ないと、認知症の進行も進みやすいと感じています。そのため、可能な限り様々な活動にお誘いし、参加していただきたいと思っています。

○食事について手作りの食事はどのくらいの頻度でお出ししていますか。

→これまでと同様、毎朝食と火曜と木曜の昼食は手作りのものをお出ししており、その他は副食のみ配食をお願いしています。

・1 週間で見ると 9 食/21 食が手作りということですね。

→はい、その通りです。

○BCP の訓練開催時には市森自治区の方にお世話になるかと思っておりますので、事前に連絡を取り協

力を仰いでください。

→はい、承知しました。今後ともよろしくお願いいたします。

○グループホーム稗原は何年に開所されましたか。

→平成19年開所です。

・現在の空室状況はいかがですか。

→在籍者数は16名のため空室は2部屋となっていますが、入院中の方が複数名いらっしゃる状況です。

○本来であれば3月末にこの会議は開催予定だったかと思いますが、嘔吐等の原因はどうでしたか。

→その節は急な予定変更をお願いし、ご迷惑をおかけしました。3月末に複数のご利用者様や職員の嘔吐、発熱がありました。原因は感染性胃腸炎との診断でした。下痢の症状の方は殆どいらっしゃいませんでした。

・それはノロウイルスでしたか。

→感染性胃腸炎との診断のみでノロウイルスとの診断は出ませんでした。

・そのような場合は、主治医の先生はいらっしゃいますか。

→先生により対応が異なります。往診してくださる先生もいらっしゃれば、症状を報告しその症状に対しての内服処方をされる先生もいらっしゃいます。

・現在、主治医の先生はどなたですか

→古瀬医院とつむらファミリークリニックの先生です。

・様々な感染症に対して薬が来ていますが、ノロウイルスにはまだワクチン等薬が来ていないようです。その分、対策として手洗いしか方法がないため、ノロウイルスは怖いと思います。

→引き続き手洗いをこまめに行いながら、感染症対策に尽力していきます。

○事故事例①の方は、前回にも報告をされた方ですか。

→はい。前回の会議時にも報告させていただいた方のご家族様です。

・実際に見ていない状態で様々なこと仰られる方がいらっしゃるんですね。

→可能な限りの報告と対応を心がけてはいました。元々精神的な疾患をお持ちだとは聞いていましたが今回のことを教訓に、カスハラも含めたハラスメントのマニュアル整備と対策を立てていきたいと思っています。

○今年はお花見をされましたか。

→ちょうど見頃の頃に、新たなご入居や緊急時対応が重なり、散歩など近場まで出ることはできませんでしたが、車でお花見に出ることはできませんでした。今後気候が良い時期が続くので、ドライブなどに出かけたいと思います。

○選挙はどうされますか。

→ご自分の名前も書けない方が殆どですので、選挙には行っておりません。

・グループホームに入居に当たり、皆さん住所を移されているのですか。

→ご自宅の住所のままでいらっしゃる方が多いですが、ご自宅がなくなったり身寄りのない方などはグループホームの住所とнаられています。

以上